

GREEN RANGER NEWS

2022年9月号 Vol.341



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■8月の活動報告

8月14日(日) [アカマツ伐採と高所枝打ち、自然観察]

クルマユリがまだ咲いているのではないかと、着くなり林の中に入るが、かろうじて花卉がひとひら葉っぱにくっついていただけ、がっかりして作業小屋へ。今日は木工が主役であったが、脇役しかおらず、いきなり自然観察に行くことに。まずはヤマジノホトギス、キキョウを観てアナグマの森へ向かう。雨上がりのせいか、いつもより鬱蒼と感じる。そんな中タチギボウシ類がこんなにもあったのかと、クサギの花が怪しげに咲いているのも目に留まる。観察カメラの設定をしながらなので皆について行けず、昼食時に、リスの森で実を付けたブナをもう1本見つけたと聞かされた。



ヤマジノホトギス、キキョウ

午後、前回編集した動画を観る。主役はなんと言っても暫く姿を見せなかったアナグマである。しかも子アナちゃん2匹のじゃれ合いは微笑むしかない。イノシシのウリ坊たちも負けずと母親の真似をして立ち木に体をスリスリしたり、餌を探しているのか地面を嗅いで掘ろうとしている。可愛いんだけどねえ。



アナグマの子たち、イノシシの母子

その後、まだカメラ設定の終わっていない所に向かうと、草丈が伸びていた幹線道路と駐車場が、オミナエシなどを避けながら刈り払われてきれいになっているのに気づく。ありがとうございました。参加者:7名

解散後、小屋近くの道脇でカエルを見つけ、ざわめく。これが彩遊の森水場の観察動画で争奪戦をし、ひも状の卵の塊を産んでくれたアズマヒキガエル！？ではないだろうか、初の出会いに興奮!!!

8月28日(日) [笹枯れ地調査、自然観察]

そろそろ晴れるかと呟き、玄関脇でクラフトの材料作り。馴れていない工作機械に手間取りつつも、オオヤマザクラの枝は綺麗だとか、タラノキは面白いんじゃないかと言いながら切断していく。作業が終わっても晴れず、動物観察の動画を観ることに。今回の目玉も、やはりアナグマ。母親が乳を与えるのを遠ざけて行き、独り立ちをさせようとする親子のバトルは凄い。勢い余って親子で

巣穴に落ち、その穴を母親が修復、その間も子供は手を緩めずかかっていく、子供はただじゃれたがってるのか…。是非、ホームページ●動画撮影記録でご覧下さい。

お昼頃、漸く晴れ上がってきた。急ぎ昼食をとり行動をする。今回はアナグマの森のウワミズザクラに上るクマを撮ると意気込んでいたが、まだ実が熟していないのか、獣道沿いでなく気がつかないのか、空振りだった。

一方、笹枯れ地調査も行われた。笹は60～120年に一度と言うタイミングで開花し枯れてしまうようで、しかも地下茎で互いに繋がっているため一つ開花すると一斉に他の笹も花をつけ、そして同じ時期に枯れてしまうとか。そして陽を得た地面から新しい植物の芽が出てくる。その結果は、後程報告あるかと。参加者:5名



クラフト材料作り

■今後の活動案内

[例会]

日時 9月11日(日)10時

場所 作業小屋

内容 全観察路を歩き、同種が集中している場所を探し地図に記す

[例会]

日時 9月25日(日)10時

場所 作業小屋

内容 全観察路を歩き、同種が集中している場所を探し地図に記す